

Books of the Month

今月の本

NHK スペシャル 人体Ⅱ 遺伝子

編：NHK スペシャル「人体」取材班
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：3080 円（本体 2800 円＋税 10%）

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるう中、最先端の科学や医学の成果に期待が寄せられている。その最前線が遺伝子研究だ。生命の奥底で躍動する遺伝子の精巧なしくみを高精度 CG で描き出す人気番組, NHK スペシャル「人体Ⅱ」を完全書籍化。まだ知らない遺伝子の可能性を描き出す迫力のビジュアルブック。



ヘルス・エスノグラフィ 医療人類学の質的研究アプローチ

著：道信良子
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：3520 円（本体 3200 円＋税 10%）

医療人類学を基盤とする著者の提唱する「ヘルス・エスノグラフィ」のガイドブックであり、保健・医療・福祉領域での質的研究の方法論の入門書。人類学のエスノグラフィをヘルスケアの領域に位置づけて展開し、その研究の実例を使って解説する。新時代のグローバル・ヘルスの諸問題に対応できるツールとなる 1 冊。



看護サービスの経済・政策論 看護師の働き方を経済学から読み解く 第 2 版

著：角田由佳
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：3740 円（本体 3400 円＋税 10%）

看護師の働きや技能は見合った評価をされているだろうか。看護サービスの特殊性、診療報酬制度など、経済学の視点から看護職の働く場を分析して、わかりやすく解説。よりよい看護・医療が提供されるためにも、看護師の働きが正当に評価されることは不可欠である。本書は、その方向性を経済学の視点で描き出す。



看護教員ハンドブック 第 2 版

編集：古橋洋子
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：2750 円（本体 2500 円＋税 10%）

授業や実習指導、研究において看護教員に最低限必要となる情報・知識・技法をコンパクトにまとめたハンドブック。2022 年度施行の看護教育新カリキュラムに対応して改訂。最新法令を反映し、教員の各業務で使えるより実践的な内容を加筆した。指導の際に留意すべきパワーハラスメントにも言及。



Advance Care Planning のエビデンス 何がどこまでわかっているのか？

著：森雅紀，森田達也
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：2640 円（本体 2400 円＋税 10％）

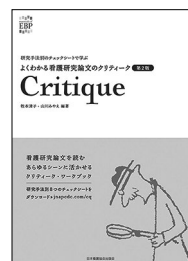
Advance Care Planning (ACP) とは、人生の最終段階の医療・ケアについて、本人と家族、医療者が繰り返し話し合うプロセスのこと。どのように話し合いのきっかけをつくるのか、どうすれば患者と家族の希望に沿った医療・ケアを提供できるのか、国内外で積み重ねられたエビデンスが ACP を深めるためのヒントになる。



研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第 2 版

編著：牧本清子，山川みやえ
発行：日本看護協会出版会
TEL：0436-23-3271
定価：3520 円（本体 3200 円＋税 10％）

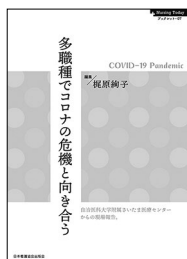
研究論文に書かれていることを正しく読み解き、評価するための知識と方法を詳細に解説。研究手法ごとのクリティーク・ポイントをチェックシートにまとめ、例題論文で実際に活用した内容を掲載している。大学や看護学校、病棟での勉強会など、研究論文を「読む」ためのあらゆるシーンで、明日からすぐに活用できる実践書。



多職種でコロナの危機と向き合う

編集：梶原絢子
発行：日本看護協会出版会
TEL：0436-23-3271
定価：990 円（本体 900 円＋税 10％）

歴史的な災禍をもたらしている新型コロナウイルス感染症。医療・看護におけるエビデンスのない中で、対応にあたる医療施設はいかにしてこの危機を乗り越えてきたのか。危機に際し最も重要なことは、多職種・多部門が連携し知恵を出し合うこと、そして各々の情報リテラシーやレジリエンスの力である。自治医科大学附属さいたま医療センターの現場報告。



新型コロナ超入門 次波を乗り切る正しい知識

著：水谷哲也
発行：東京化学同人
TEL：03-3946-5311
定価：1320 円（本体 1200 円＋税 10％）

コロナウイルスの専門家が、いま知っておくべき正しい知識をわかりやすく解説する。新型コロナウイルスの感染や変異はどのように起こるのか、無症状感染者の特徴、ペットへの感染リスクと対応など、感染のしくみや検査の原理を正しく理解すれば、パンデミックを制する知恵が身につく。

